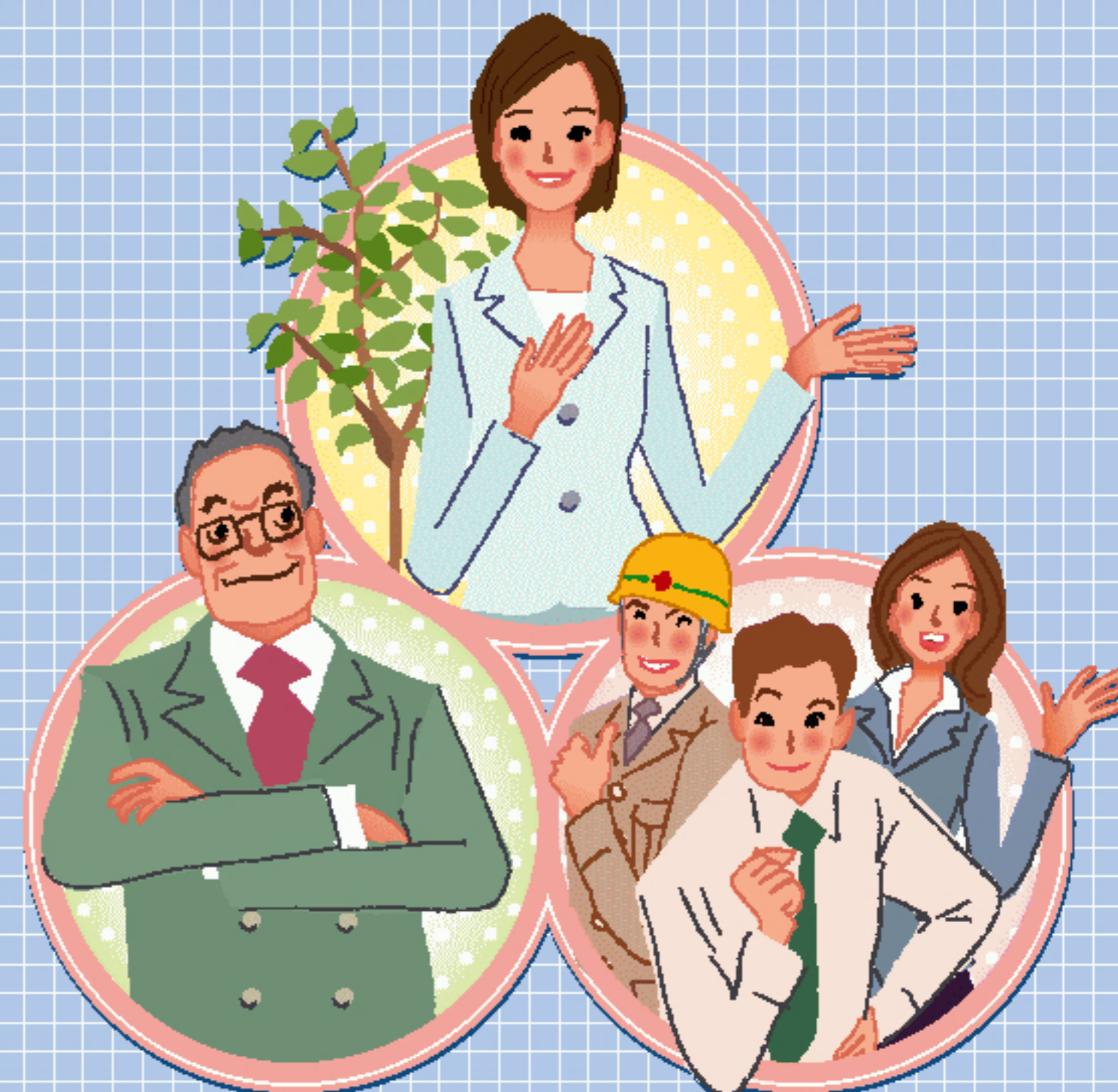


# 日本産業衛生学会登録の 産業看護師をご存知ですか？



## 1 産業看護師になるには

下記の要件を満たし、産業看護師登録を行った者。

### ① 看護師（厚生労働大臣免許）の場合

産業看護の実務経験2年以上及び衛生管理者の資格を有する者が、「産業看護講座Nコース」を全課程修了し、その上に「産業看護講座基礎コース」を全課程修了した者。

### ② 保健師（厚生労働大臣免許）の場合

産業看護の実務経験2年以上の者が、「産業看護講座基礎コース」を全課程修了した者。

### ③ 日本産業衛生学会産業看護部会が認めた教育を受けた者

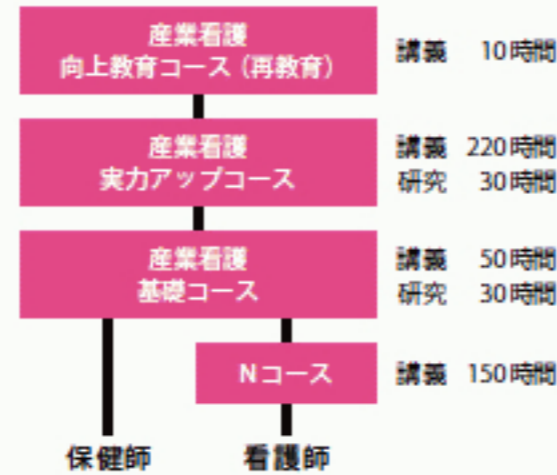


図1 産業看護職継続教育システム

## 2 更なるレベルアップのために

産業看護の基礎的理解を深め、実務を展開できるようにすることをねらいとした基礎コースを修了した後、専門性を高めレベルアップを図るための実力アップコース（講義220時間、研究30時間）と定期的な再教育のための向上教育コース（5年ごとの受講、講義10時間）へと積み上げていくことができます。



## 産業看護職への期待が高まっています！

例えば行政的な流れをみると、労働安全衛生法制定時には産業看護職は衛生管理者として機能するよう位置づけられ、看護の専門性は認められていませんでした。しかし、近年は行政的にもその専門性が求められてきています。

年代	行政の動き	産業看護職の位置づけ
1972年	労働安全衛生法制定	なし
1988年	事業場における労働者の健康保持増進のための指針	産業保健指導者の名称で健康づくり専門スタッフの一員として
1996年	労働安全衛生法改正	健康診断の事後措置（保健指導）を行う人材として
2006年3月31日	労働者の心の健康の保持増進のための指針	メンタルヘルス推進担当者として

このように産業看護職への期待は、時代とともに高まりをみせています。

日本産業衛生学会登録の産業看護師についてのお問い合わせは  
産業看護部会 HP へどうぞ



社団法人 日本産業衛生学会  
<http://www.sanei.or.jp/>

発行元  
社団法人 日本産業衛生学会 産業看護部会  
発行責任者 部会長 河野 啓子  
<http://www.sangyo-kango.org>







産業看護師は従業員の**最も身近な存在**として、働く人々の元気と職場や事業場の活性化を支援する産業保健専門職です。



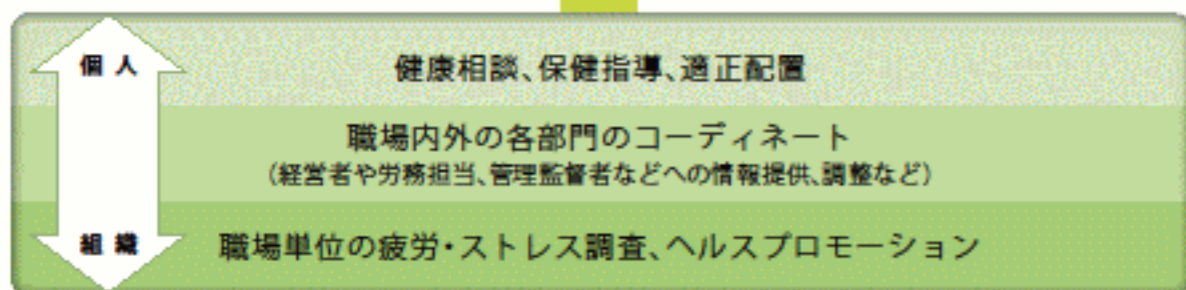
### 生産性を高めるような作業組織、労働文化の発展

産業保健チームの一員として

法遵守に基づく活動および健康保持増進活動を支援します。



働く人(個人)から職場(組織)まで、健康について広く対応できます。



産業看護師は、プライバシーに配慮しながら、働く人々の気持ちや生きがいを尊重し、科学的根拠に基づいた産業保健活動を行います。

**学会登録の産業看護師をご活用下さい。**

## さまざまな場面で産業看護師は働いています

### 株式会社ふくれん 一人ひとりへのきめ細やかな支援

**DATA** 本社：福岡県朝倉市[甘木工場] 県内に別工場[宮田工場]  
従業員数：230名(協力会社を含め900名)  
主な業務：飲料・食品の製造(2交代制)、開発・販売



本社管理部総務課今村一彦課長と藤古やちよ産業看護師(在職16年)にお話を伺った。株式会社ふくれんは、創業当時より製造現場の救急対応のため医務室に看護師を配置していた。近年では、救急対応よりメンタルヘルス相談が増えてきている。今村課長によると「製造現場では悩みを持っているだけで事故につながる危険性があり、従業員の全生活も含めた継続性のあるメンタルヘルス支援が必要かつ重要である」とのこと。藤古さんは、どんなことでもいつでも気軽に相談できる体制をつくることにも、質の高い看護を提供できるように心がけている。産業看護職としてスキルアップし、職務の基盤を固めていくためにも、産業看護師を取得したことはよい契機になったという。今村課長の「社員が家庭のことも含めて相談できるのは、藤古さんとの間に信頼関係があるからであり、また、2つの工場の健康管理をすすめる上で重要なパイプ役である」との言葉から、藤古さんの(株)ふくれんにおける存在の大きさを窺うことができた。

### 富士電機リテイルシステムズ株式会社 組織へのアプローチから企業文化の醸成へ

**DATA** 本社：東京都千代田区  
従業員数：2,597名(2006年1月31日現在)  
主な業務：自動販売機、冷蔵機器の製造販売



西尾取締役管理本部長と五十嵐千代主査(産業看護歴約20年)に話を伺った。五十嵐さんは本社(約500名)および支社(約450名)と会社全体の総括を担当し9年になるとのこと。西尾取締役によると、「営業部門が主力で散在事業所が多いという特色から、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策の施策の展開が難しいが、組織の仕組みや会社のことを良く知った産業看護師に心身のケアを担当してもらっているので、うまくいっている」とのこと。また、「産業看護師の特色は?」とかがうと、すぐに「社員との距離が近く、一人ひとりの社員がどう働いているかを把握しており、それぞれが大切にしているものや気持ちを理解してもらえるので、相談しやすい」との答えが返ってきた。

五十嵐さんは、個人の健康はもちろん、組織の健全さを保つ支援をしていきたいとの思いから、全国に12ある支社を2年がかりで訪問し、全員面談を実施するとともに、メンタルヘルス教室を開催している。また、人事部や、労働組合などとも緊密に連絡を取り、気になることがあれば人事部と連携をとり、対策をお願いしているとのこと。企業としての組織のあり方や働き方など大きな問題におよべば、直接西尾取締役に相談を持ちかけることもあるという。

西尾取締役の五十嵐さんへの信頼は厚く、「一人ひとりを点ではなく、流れの中で見ている」『会社の方向性や組織についての話が出る人』との言葉にもそのことが現れていた。

### 財団法人 神奈川県予防医学協会 事業場への力強い支援者として

**DATA** 本社：神奈川県横浜市  
主な業務：総合健康管理機関として健康診断・検診、メンタルヘルスで事業場を支援  
健診実施事業場数：2,344件



(財)神奈川県予防医学協会は、日本でも数少ない産業看護職が活躍する労働衛生機関のひとつである。勤務する産業看護職は20名余り、彼女たちが所属する健康創造室相談課の三角課長、高橋担当課長、亀ヶ谷主任にお話を伺った。

産業看護職の主業務は、年間契約事業場の健康管理支援、短期契約事業場の健診事後フォロー、メンタルヘルス相談、当施設内で行われる人間ドックなどの保健相談、生活習慣病対策としての個別保健指導である。三角さんによると2001年から年間契約件数が着々と増加しているとのこと。業務の中で特徴的なことは、産業看護職自身が行う渉外が含まれることである。高橋さんや亀ヶ谷さんは連絡してきた企業を訪問し、担当者との話の中から産業保健のニーズをアセスメントし、業務プランを提案し契約につなげている。

多くの企業に産業看護職を派遣しているため、その質の標準化は重要である。看護職教育担当の亀ヶ谷さんは、その教育に日本産業衛生学会産業看護部会による産業看護講座基礎コースのテキストが役立っているという。産業看護の専門性について何うと、高橋さんから「リスク管理」と「マネジメント」との答えが返ってきた。従業員の健康管理がますます重要になる中で、産業看護職を雇うことが難しい中小規模事業場にとって、心強い味方になってくれる存在だと感じさせられた。